

4つの柱と重点的な取組からみる令和6年度実績及び令和7年度計画

資料3－2

基本目標		基本理念	基本方針		2024(令和6年度)	2025(令和7年度)
					実施内容	実施計画
すべての人が地域で支え合い健やかに暮らせるまち	あなたが主役 みんなで広める健康づくり	ひとの健康づくり「一人ひとりにあった健康づくりの促進」まちの健康づくり「健康を支え守るための社会環境づくり」	たべる	【食を通じた健康づくり】	朝活 私の朝 人々の暮らしと健康を支える活動	・調理実習と講話→周知・啓発方法の工夫（SNSを活用、朝活イベント時の周知等）
				・減塩パネル等の展示：小学校3校、高校2校、福祉まつり		・子どもわくわくフェスタ
				・調理実習と講話：10ヶ所		・ピエトロとの連携事業
				・バザー（子どもわくわくフェスタ）：1回		・レシピカードの配布
				・リーバスカレッジでの調理実習：4回（対象者 親子1回 成人1回 男性2回）		・Youtube古賀市健康チャンネルの配信
				・広報6月号 ちょっこつ健康まめ知識～4つの柱「食べる」～		・広報記事の掲載
				・減塩啓発（婚姻届、妊娠届、6カ月訪問対象者へ減塩啓発物の配布）		・食生活改善推進会の養成・活動支援→新規養成者が入会をしやすくなるような工夫（食進会のイベント等への参加など）
				【次世代に受け継ぐ食育】		
				・みそづくり（こども園、小学校）：3ヶ所		
・ピエトロとの連携事業（保育所、こども園）：5ヶ所						
【食環境づくり】						
・レシピカードの作成・配布						
・Youtube古賀市健康チャンネルの配信						
			うごく	【身体活動の増加と運動習慣の定着】		
				・広報12月号 ちょっこつ健康まめ知識～4つの柱「うごく」編～		
				・出前講座による運動、体操		
				◆生涯学習推進課との連携（朝活ウォーク）		
			まもる	【生活習慣病の発症予防】	①健康チャレンジ10か条の普及啓発 ②朝食の習慣化や早寝早起きなどの「朝活」の普及	・各種健康診査及び特定保健指導、各種健康講話の実施
				※特定健診受診率（R5年度法定報告 38.1%）後期健診受診率（R6年度速報値 16.77%）		・各種健康診査及び特定保健指導、各種健康講話の実施→30代国保、40歳の対象者へのハガキ送付、おまかせ予約等での若い世代への受診率向上に対する工夫
				・広報7月号 女子のためのヘルスチェックデイ（がん検診）		・地域での健康測定会及び健康講話の実施
				・広報9月号 ちょっこつ健康まめ知識「あなたは本当に大丈夫？「生活習慣病」		・地域リハビリテーション活動支援事業での口腔チェックガムの活用→地域リハの周知方法の工夫
				・広報5月号 ちょっこつ健康まめ知識「病院を受診していても受けよう！年1回の「後期高齢者健診」		・粕屋歯科医師会の出前講座の周知・啓発→地域リハとの連携による周知
				【「計る（測る）」を取り入れた生活の推進】		・広報記事の掲載
				・地域での健康測定会及び健康講話の実施：61回 2,916人		
				・健康チャレンジ10か条の周知啓発		
				【歯・口腔の健康づくり】		
				・粕屋歯科医師会 出前講座：1件		
				・口腔チェックガムを活用した測定（地域リハビリテーション活動支援事業：米多比区		
				・広報2月号 ちょっこつ健康まめ知識健康チャレンジ10か条「まもる」「たのしむ」		
				◆市民国保課との連携		
			たのしむ	【社会活動（地域活動・就労等）の促進】		
				・広報11月号 行ってみよう！やってみよう！地域の健康づくりをサポート ヘルス・ステーション		
				【こころと体の健康づくり】		
				・広報2月号 ちょっこつ健康まめ知識健康チャレンジ10か条「まもる」「たのしむ」		
			子ども	【「骨」を介した健康づくりの推進】		・市内全小中学校での実施
				・子どもの健康づくり推進事業		・広報記事の掲載
				モデル校（古賀西小、千鳥小、古賀北中）での実施		
				①生活習慣調査：平日5日間×2回		
				②骨密度測定・結果の見方の説明		
				③健康講話：株式会社明治からの健康講話		
				④健康チャレンジ10か条の周知、啓発		
				◆学校教育課との連携		
			女性	【「女性ホルモン」の変化に応じた健康づくり推進】		
				・女性の健康づくり		
				令和7年1月25日（土）講演会「知っておきたい女性の健康」～女性が生き生きと働くために～		
				参加者数：（講演会）74名（健康測定会）42名		
				◆人権センターとの連携		
			高齢者	【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進】		地域分析を踏まえ、効率的効果的な保健対策実施
				①個別支援（ハイリスクアプローチ）		・ハイリスクアプローチ
				・低栄養防止：（介入数）10人		重症化予防（糖尿病性腎症、その他の生活習慣病）
				・糖尿病性腎症：（介入数）17人		健康状態不明者：75歳～79歳までを優先的に介入
				・その他の生活習慣病（高血圧等）：（介入数）59人		・ポピュレーションアプローチ
				・健康状態不明者：（介入数）52人		低栄養
				◆地域包括支援センター・基幹型地域包括支援センター（福祉課）との事例を通した連携		身体的フレイル
				②通いの場等を活用した保健事業（ポピュレーションアプローチ）		・広報記事の掲載
				◆地域活動サポートセンター「ゆい」の実施する一般介護予防事業（地域支援事業）との連携		
				◆圏域地域包括支援センターが行う事業との連携		
			地域づくりと人材育成	【人材育成と地域活動の活性化】		・健康づくり推進員、食生活改善推進会の定例会の実施
				・健康づくり推進員：46名		・健康づくり推進員、食生活改善推進会の養成
				健康づくり推進員養成講座：全2回（7名申込、7名受講、7名委嘱）		・サポーター合同研修会の開催
				・食生活改善推進会：30名		・ヘルス・ステーション未設置区に対する支援→広報等を活用した周知啓発の工夫
				食生活改善推進会：全8回（19名申込、12名修了、10名加入（令和7年度））		・ヘルス・ステーション設置区に対する運営支援→交流会の実施
				・広報5月号 サポーター養成講座参加者募集！（健康づくり推進員、食生活改善推進会）		
				・ヘルス・ステーション 14地域		



① 健康チャレンジ10か条の普及啓発

② 朝食の習慣化や早寝早起きなどの朝活の普及